

# 施政方針



令和6年3月

あさぎり町

## 令和6年度施政方針

本日、令和5年度あさぎり町議会第11回会議が開催されるにあたり、令和6年度当初予算を上程いたしますので、あさぎり町政の基本的な考え方や主要事業につきまして、施政方針を申し上げ、議員各位並びに町民の皆さんのご理解ご協力をお願いするものであります。

まず、元日に発生しました能登半島地震で被災されお亡くなりになられた方々と避難生活が続いていらっしゃる方々にお悔やみとお見舞いを申し上げます。

多くの尊い人命や財産が失われ、被災された多くの方々が未だ、日常生活を取り戻すことができていない状況を目にするたび、町政を預かる者として、自然災害はもとより、様々な危機的な状況から町民の生命と日常の生活を守り抜くことの大切さを改めて痛感しているところであります。

現在、被災地が一日も早く復旧復興ができるよう、国を挙げて懸命な支援が行われていますが、本町としても、県の派遣チームと連携し、応援職員の派遣など、できる限りの人的・物的支援を行っていきます。

昨年末に、国立社会保障人口問題研究所から2050年の将来推計人

口が公表されました。あさぎり町は 2020 年の人口 14,676 人と比較して、2050 年が 8,822 人と 40%減少の推計値でありました。人口減少や少子高齢化の進行は、社会保障やインフラの維持、地域経済の活性化、地域コミュニティの担い手確保などに深刻な影響を及ぼしており、持続可能な未来に向け避けることのできない課題であります。あさぎり町においても、急激な人口減少を抑制することが、最重要課題として危機感を持って捉えているところであり、魅力を感じるまちづくりをさらに進めていかなければならないと思っています。

それでは、令和 6 年度の町政運営に関わる主要施策の概要につきまして、今回の議会にご提案します第 3 次総合計画に沿って申し上げます。

#### **魅力ある就業・産業の構築**

安定した農業所得の確保を目指し、農畜産業用の機械や施設の整備、省力化及び効率化に対する補助を継続します。また、担い手となる後継者や将来認定農業者を志向する農業者に対し、技術の習得や所得の安定的な確保を支援する支援金や様々な自然災害や市場価格

の下落等の影響から、収入減少にも対応できる収入保険制度保険料助成を行います。また、近年頻発する集中豪雨などの災害に対応すべく排水路などの整備をし、溢水被害の軽減を図ります。

林業につきましては、町有林を適正に管理するために、人工造林、下刈り、利用間伐、鳥獣害防止施設設置を計画的に進め、激甚化する山地災害等への対応や森林の持つ公益的な機能が発揮できるようにするため、関係機関との連携強化を図ります。

商工業につきましては、事業継続に向けて事業承継の推進に取り組みながら、若い世代の活躍の場を創出するとともに、移住定住推進の取り組みにも生かしていきます。また、若者の定住化の促進を図るため、結婚や将来設計に対する経済的負担を軽減する結婚新生活支援事業に取り組みます。

観光につきましては、キャンプ場のリニューアルに向けた現地調査、基本計画の策定や新たな情報発信のツールとして、デジタルコンテンツを活用したPRに取り組みます。

#### **魅力ある健康・福祉の構築**

生涯にわたって健康で幸せに暮らせるよう、健康づくりと環境づ

くりを推進するため、健康づくりに資する活動に対しての健幸ポイントのデジタル化を推進し、スマホアプリを活用してデータの見える化を図ります。

複雑・複合的な課題を抱える人が増加する中、高齢、障がい、子ども、生活困窮等の各福祉分野の機関が連携して支援する体制を構築するための重層的支援体制の整備に着手していきます。

全ての妊産婦、子育て世代、子どもへ一体的に相談支援を行う機関「こども家庭センター」を令和6年4月1日から設置し、妊娠期からの支援により心身のケア、育児サポート等を迅速な対応で安心して子育てができる支援体制の充実を行っていきます。

高齢者の自動車運転による交通事故は全国的に多発していて、大きな社会問題となっています。高齢者の運転免許証自主返納者への支援としてデマンド交通の1年間無料乗車券の交付をしていきます。

#### **魅力ある生活基盤の構築**

安全で安心して通学できる通学路整備、安全で快適な生活環境を創出するための道路改良、安全で円滑な通行を確保するため老朽化した橋梁や舗装補修を計画的に進めていきます。また、球磨地域にお

けるサイクルルートと連携し、町内を周遊できるコースの整備を進めていきます。

令和2年7月豪雨及び台風による被害で、水道施設が被災し、町内において断水等の被害が発生しています。「水道施設再編整備計画」に基づき、吉井浄水場の水源整備及び吉井配水区域から岡原配水区域への送水管敷設及び配水ポンプ場を新設し、自然災害に対する施設の強靱化を図ることで安心・安全な水道水の安定供給を図ります。また、河川への土砂の堆積や護岸の損壊が生じており、氾濫を抑制する河川改修や護岸の補修、堆積した土砂の撤去を進めて、住民の安全の確保と財産の被害防止を図ります。

自然災害発生時に避難者に快適なトイレ環境を提供できるように、指定避難所にマンホールトイレの整備も継続していきます。

町営住宅長寿命化計画に基づき、適切な時期に予防保全的な修繕及び耐久性の向上等を図る改修により、住宅の建て替えや維持管理コストの縮減を進めます。

昨年、脱炭素先行地域の認定を受け、太陽光発電・蓄電池を導入するとともにバイオ炭を活用した牛糞堆肥の製造・散布を行うことで脱炭素農業を推進し、生産性の向上も図っていきます。

## 魅力ある教育・文化の構築

あさぎり中学校屋内運動場の老朽化に伴い、施設の長寿命化と機能向上により、教育環境の改善と近年の環境変化等への対応や防災機能強化に取り組みます。また、仮設校舎跡地の駐車場、正面玄関の劣化した舗装改修及び排水対策を行い、施設の適正な管理を行っていきます。

「教育基盤は家庭から」の理念のもとに、家庭教育を支援する支援員を配置し、「保護者への学習機会の効果的な提供」や「家庭教育に関する相談対応や情報対応」などのよりよい子育てにつながる学びの場を提供していきます。

子育て世帯の負担軽減のため、学校給食費の無償化へ向けて段階的な措置として半額助成を実施します。また、アレルギーによる給食が食べられない児童生徒の家庭への給食費を基準とした助成を実施します。

体育施設予約管理では、新たなシステムを導入し、施設利用者の予約の手間が軽減され、利便性の向上を図ります。

新しい流れを力にする取り組みとして、地域外からの関係人口の増加を図り、地域課題の解決や町内の農林商工業の地域経済を発展

させるため、交流の拠点となるテレワーク施設整備を引き続き行っていきます。

### 計画の実現に向けて

人口減少や少子高齢化、自然災害の多様化など様々な地域課題に対応すべく、令和5年度中にデジタルの技術を活用した「活力あるまち、ひと、しごと」の実現に向けた自治体DX推進計画を策定するための作業を行っております。計画の策定後は、地域社会及び行政のデジタル化を推進するために、その計画に盛り込んだデジタル化の実現に努めるとともに、地方創生人材支援制度を活用した人材確保やマネジメント業務及びサポート業務の必要な体制整備を進めていきます。

また、令和5年度から令和7年度の3か年にわたり、町内全域に光ブロードバンド整備を行い、都市部と遜色ない光サービスの充実、大規模災害時における通信手段の確保に取り組めます。また、屋外放送設備の更新については、現在は防災ラジオやあさぎりナビなど多くの情報提供手段が整備されているため、スピーカーを高性能にしつつ、局数を大幅に減らして更新を行っていきます。

町有財産活用サウンディング型市場調査を引き続き実施するなど、公民連携の推進を図っていきます。

人の改革として、県との連携強化及び職員の資質向上を目的とし、相互の職員の派遣、職員研修による組織全体のスキルアップにより行政需要等に的確かつ迅速に対応するための効果的な組織機構の構築を目指していきます。

編成しました令和6年度当初予算は

一般会計 12,257,414千円、前年度肉付予算比5.7%減となります。第3次総合計画に掲げる目標達成を実現すべく、町税やふるさと納税等の自主財源の確保、国・県の補助事業や、財源的に有利な地方債の活用に努めてまいります。

以上、令和6年度の主要な施策について述べさせていただきました。令和6年度は「第3次あさぎり町総合計画」のスタートであり、これまで取り組んできた施策を停滞させることなく、さらに加速させ、実現に向けて、今後とも全力を尽くしていく決意を申し上げまして、令和6年度の施政方針といたします。